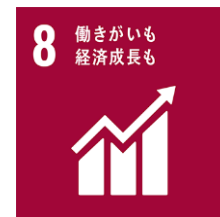


「家庭用廃食用油回収の現状と 埼玉県等における具体的な取組の実際について」 ～吉川油脂の取組み～



お客様・社員・社会に必要とされ続ける会社を目指します。

会社概要

関係者限り

会社名	株式会社吉川油脂
所在地	〒327-0231 栃木県佐野市飛駒町3845番地3
電話 / FAX	0283-66-2233 / 0283-66-2234
URL	www.y-yushi.com
事業内容	廃食用油回収・リサイクル及び販売
代表者	代表取締役 吉川千福

1975年

創業（昭和50年1月）

4,000万円

資本金（設立 平成2年10月）

151名

社員数（令和8年1月現在）

うち知的障がい者15名が、生活サポートを受けながら自立・社会復帰しています



株式会社吉川油脂

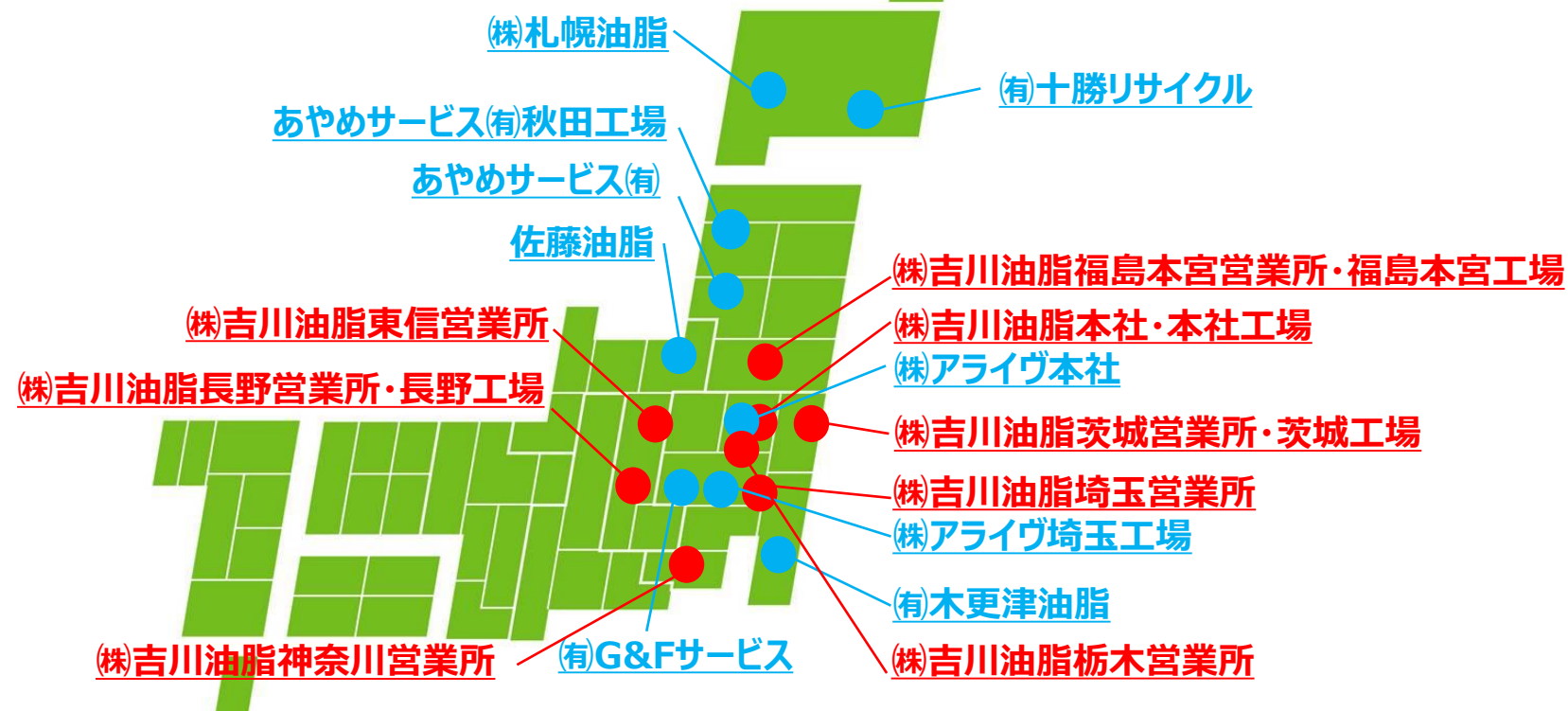
ネットワーク

[事業所一覧]

株式会社吉川油脂

- ・本社工場（栃木県）
- ・福島本宮工場（福島県）
- ・長野工場（長野県）
- ・東信営業所（長野県）
- ・茨城工場（茨城県）
- ・栃木営業所（栃木県）
- ・神奈川営業所（神奈川県）

株式会社アライブ ・埼玉工場（埼玉県）



[協力会社]

- 有限会社G&Fサービス（東京都）
- あやめサービス有限会社（山形県）
- 佐藤油脂（新潟県）
- 株式会社札幌油脂（北海道）
- 有限会社十勝リサイクル（北海道）
- 有限会社木更津油脂（千葉県）
- その他



神奈川営業所（神奈川県）



栃木営業所（栃木県）

株式会社吉川油脂事業所



本社工場（栃木県）



長野工場（長野県）



埼玉工場（埼玉県）



東信営業所（長野県）



福島本宮工場（福島県）
茨城工場（茨城県）



廃食用油（UCオイル）とは

揚げ物などの調理に使用した後の使用済み食用油の総称。UCO（Used Cooking Oil）とも呼ばれ、回収食用油などとも呼ばれています。

廃食用油排出源



食品工場



給食センター



飲食店



コンビニエンスストア



スーパー



家庭

事業系 UCO発生量
約40万 t / 年

家庭系 UCO発生量
約10万 t / 年

廃食用油（UCオイル）利用用途

事業用の廃食用油は、あらゆるリサイクル用途に利用されています。
※家庭用廃食用油は、トレーサビリティ及び食の安全という観点から、飼料用油脂には利用できません。



飼料用油脂
(豚・鶏のえさ)



SAF
(持続可能航空燃料)



バイオディーゼル燃料
(FAME)



船舶燃料
(FAME・HVO)



工業用油脂
(インク・インキ等)



工業用油脂
(エコアスファルト材)



工業用油脂
(鉄鋼離型剤)



工業用油脂
(せっけん・洗剤)

国内のUCO需要量について

国内のUCOの需給バランスは完全に逆転しており、国内で有効利用を促進するための原料が圧倒的に少ない状況が発生している。

国内総需要量 年間230万 t 以上

- | | | | |
|------------|----------------|--------------------|------------------|
| ・ 飼料用油脂原料 | 年間20～30万 t 程度※ | ・ 国内燃料（SAF） | 年間150万～400万 t 程度 |
| ・ 工業用油脂原料 | 年間5万 t 程度 | ・ 輸出（燃料） | 年間12万 t 以上 |
| ・ 国内燃料（発電） | 年間40万 t 程度 | ※飼料原料油脂は家庭由来UCOはNG | |

国内UCO発生量 年間40万 t



国内の有効利用先のポートフォリオ発想による供給のバランス化をすると同時に
国内で利用されていない未利用資源の発掘が早急に必要

SAFについて

関係者限り

SAF = Sustainable Aviation Fuel（持続可能な航空燃料）の略

- 従来のジェット燃料が原油から精製されるのに対し、廃食油、サトウキビなどのバイオマス燃料や、都市ごみ、廃プラスチックを用いて生産
- 従来のジェット燃料と比較して約60～80%のCO2削減効果あり
- 航空分野では、CO2削減に最も効果が高いとされており、今後はSAFの利用が必要不可欠

G7広島首脳宣言（2023年5月）

- ・ 持続可能な航空燃料（SAF）の導入促進、新技術の導入及び運航の向上への取組を行うことを含め、2050年までに国際航空からのCO2排出実質ゼロを目指す国際民間航空機関（ICAO）の目標の達成に向けた世界的な取組を加速することにコミットする。

SAF導入促進に向けた官民協議会（2024年6月）

- ・ 2030年時点におけるSAFの供給目標量を
- ・ 「2019年度に日本国内で生産・供給されたジェット燃料のGHG排出量の5%相当以上」とする。
⇒ 経済産業省は、2030年から義務付ける方針
- ・ この目標の達成に向けて、国際競争力のある 国産SAFの開発・製造を推進

本事業において重要となる原料確保に向け国内外のパートナーと連携し、
SAFの安定供給体制の構築を目指して取り組んでおります。



株式会社吉川油脂

家庭用廃食用油回収の具体的方法について



リターナブルボトル



回収ボックス

🔄 家庭用廃食用油回収容器のリユース (リターナブルボトル)

専用ボトルを消費者に配布。洗浄・リサイクルは吉川油脂が担当。清潔かつ持続可能な運用を担保します。

🛒 ペットボトル回収の併用

ペットボトルでの家庭用廃食用油の回収にも対応。多様なライフスタイルに合わせた柔軟な回収を実現します。

📍 暮らしの動線に合わせた拠点整備

スーパー・マンション等に回収拠点を設置。日常のついでに無理なく参加できます。

埼玉県内スーパー家庭用廃食用油設置例

埼玉県に所在するスーパーに「回収BOX」を設置し、家庭用UCオイル回収しています。

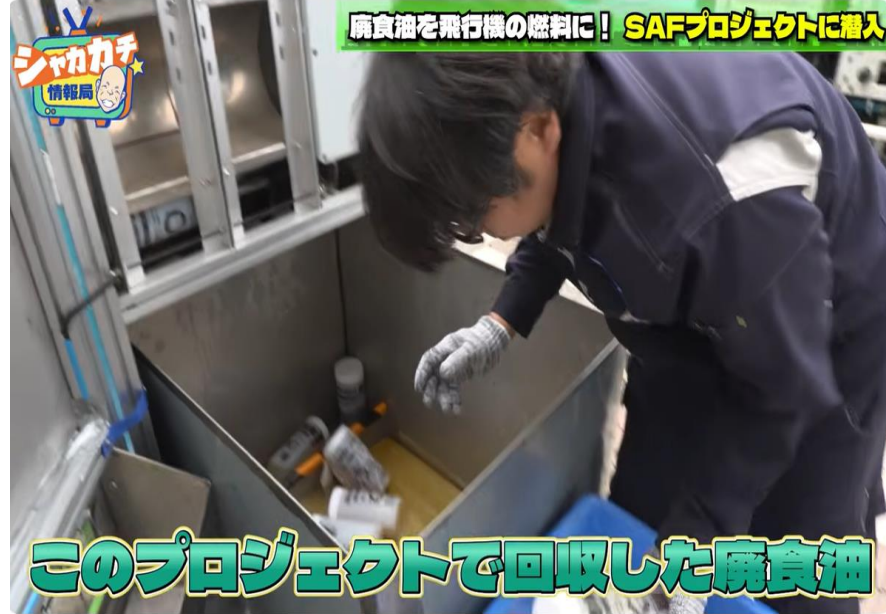


リサイクルの見える化への挑戦



(株)Green Sustainable Agriculture
SVO燃料利用脱炭素農業への挑戦

SMBC YouTube公式チャンネルで紹介されました



家庭用廃食用油連携協定締結及び回収拠点実績

関係者限り



全拠点311か所

(2026年3月現在・民間企業/行政連携)

東京都	91か所	茨城県	38か所
埼玉県	53か所	福島県	16か所
千葉県	10か所	新潟県	5か所
群馬県	21か所	神奈川県	2か所
栃木県	65か所	宮城県	10か所



株式会社吉川油脂